

10/24 久しぶりの帰郷を喜ぶ谷川さん



▲歌会始で入選した、ご自身の歌の碑が建立される丸山総合公園を訪れた谷川さん。

岡山県瀬戸内市の国立療養所長島愛生園で暮らす、元ハンセン病患者の谷川秋夫さん（88）が6年ぶりに帰郷。母校の北条小学校などを訪れ「桜が咲く頃にまた帰ってきたい」と故郷を懐かしみました。

11月21日には、谷川さんご寄附をもとに、丸山総合公園に西村市長と北条東幼稚園の子どもたちが、人の心に人権尊重の実がみのようと、赤い実がついたウメモドキなどを植樹しました。

11/3 法華口駅に米粉パン工房がオープン



▲オープン翌日の記念式典でテープカットに見たてた米粉パンカット

法華口駅に古い木造駅舎の魅力を生かした、地産地消の米粉パン工房がオープンしました。

知的障害者支援施設・希望の郷の利用者3人を含む5人のスタッフの運営で、店名は全国から応募のあった111点の中から、フランス語で「私のお気に入り」を意味する「モンファボリ」に決まりました。

パンは地元で獲れる野条穂の米粉が使われ、もっちりとした食感が楽しめます。

11/7 速く、正確に「自衛消防実戦競技」



▲消火器や屋内外の消火栓などを使って消火の速さ、正確さを競う4部門に、市内30事業所から49チーム120人が参加しました。

自衛消防組織の資質を高めようと「第18回自衛消防実戦競技大会」が、加西消防署訓練場で開催されました。

各部門の優勝者は次のとおりです。

消火器放水競技	(株)マสดックス
屋内消火栓放水競技	三洋電機(株)加西事業所B
屋外消火栓放水競技	(株)椿本チエイン兵庫工場
小型動力ポンプ放水競技	是常精工(株)

11/10 「KASAI ねっぴ〜号」が発進進行



▲さるびあっ子の子どもたちが体験乗車をして、五百羅漢までの道のりを楽しみました。

コミュニティバスが「KASAI ねっぴ〜号」としてデザインを一新され、北条町駅前出発式が行われました。

子どもたちが声をそろえて「ねっぴ〜号」と呼ぶと、ブドウの紫色をベースに、加西ふるさと観光大使「ねっぴ〜」と、玉丘古墳、五百羅漢などの市内観光名所を描いたバスがロータリーに登場しました。

誕生を祝い、加西児童合唱団さるびあっ子のメンバーが歌をうたったり、運転手に花束を手渡ししたりしました。

10/26 いっぱい採れたサツマイモ



▲やっとの思いで土の中からサツマイモを掘り出した園児

九会保育園の園児69人とその祖父母56人が、一緒にサツマイモの収穫を楽しみました。

6月に地域の方と園児らがつるをさし、水やりや草引きをするなど、協力してふれあうことの大切さを学びながら管理を行ってきました。

園児らはスコップで土を掘り返し、大きなサツマイモが現れるたびに歓声を上げ、大事に抱きかかえていました。

11/3 団結を深めたスポーツ少年団



▲力いっぱい綱を引く下里少女バレーボールクラブ

市内のスポーツ少年団員同士の交流を深めるため、団員360人が多目的グラウンドで、大なわとびや綱引きなどで競い合う「スポーツ少年団のつどい」に参加しました。

団員は「みんな1つになって頑張ろう」と互いに励ましあって、チーム内を活気づけ、相手チームとの勝敗がついた後には「ありがとうございました」と礼儀正しく挨拶をしていました。

11/9 故郷を大切に「クリーンキャンペーン」



▲園児と協力しながら窓拭きをする北条高生

北条高校の生徒350人が、フラワーセンターや給食センター等市内20カ所でゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。

同校は、地域に貢献し故郷を大切にする心を育もうと毎年実施しています。

北条東幼稚園では、11人が竹ぼうきで園庭の落ち葉を集めたり、園児といっしょに教室の窓拭きをしたりして、熱心に奉仕活動に取り組みました。

11/16 たくさんのみかんに大興奮



▲みかん狩りを楽しむ園児

泉第三保育所と西在田幼稚園の園児26人が、シルバーロイ株式会社（大内町）から招待され、敷地内の畑でみかん狩りをしました。

園児は「おっきくて、黄色よりオレンジ色のみかん」などと言いながら、甘そうなみかんを探し、走り回っていました。

合同遠足で交流を深めた後は、お兄さん・お姉さんと手をつないで約2km離れた保育所まで帰りました。